

## 普及活動検討会実施報告書

( 美里 ) 農業改良普及センター

実施月日：令和5年9月1日

実施場所：美里農業改良普及センター

### 1 検討内容

No	検討項目
1	土地利用型農業法人の経営戦略と持続的経営の展開
2	土地利用型農業法人が取り組む加工業務用いんじんの生産安定
3	堆肥の活用と施肥方法の改善による麦類の品質・収量の向上

### 2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	
若手・女性農業者	2	学識経験者	
市町村	3	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	1

### 3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果 (コメント, 評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
土地利用型農業法人の経営戦略と持続的経営の展開	3.8	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業計画見直しへの支援は素晴らしい。毎月か四半期毎か計画と実績を対比し検証すること。</li><li>・構成員の高齢化と人材育成が課題、地域内外から探す必要がある。</li><li>・概ね順調に課題解決に向けて活動できていると思う。</li><li>・土地利用型農業法人は同様の課題が多い。60～70歳代の役員の中に40歳代がいるのは経営上大きい。地域の若い人が入ってくることを願う。</li><li>・構成員の高齢化が問題。地域計画の策定で今後の営農について確認、協議しておくことが必要である。</li><li>・開田の活用方法について、畑地化しきつまいもの栽培等土地の有効活用を考えてほしい。</li><li>・耕作放棄地は地域の環境や経営に関わることから、地域課題としてよい方法が見つかることを期待します。</li><li>・生産者から経営者へと変容し、計画達成に向けた工程表を作成してフォローアップを繰り返し、レベルアップすることが求められています。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・経営管理研修会を開催し、決算書を役員が理解し、総会で利益処分案と事業計画見直しについて自ら説明し、承認されたことが今年度前半の成果です。今後は複式簿記の経理支援をしている農協TACや専門家等と連携し、部門別経理や予実管理の実施と、持続的運営に向けた組織体制の整備などを支援します。</li><li>・水田交付金の見直しに伴う開田の活用方法については、作物別経営シミュレーションの検討などを行いながら営農計画の見直しを支援していきます。</li></ul>

<p>土地利用型農業法人が取り組む加工業務用になじんの生産安定</p>	<p>4.0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年以降、加工業務用になじんの契約出荷が始まり、水田転作での排水対策や品種選定、販路開拓など安定生産への取組みは評価できる。</li> <li>天候問題に尽きるが夏作になじんの2年連続の収量減は仕方がない。販売先について、契約先より新規や市場が安くなる見込みもあるが頑張っしてほしい。</li> <li>継続支援により生産技術は向上したが、1社のみでの販売では規格外など出荷ロスが出るので、2～3社の売り先を持つべきだと思います。</li> <li>実需に対応した販路拡大は評価できる。リスクのある作物だと理解したうえで産地形成への継続支援を期待します。</li> <li>になじんの規格外について、ペースト加工など加工業者とのつながりがあれば良いと思います。</li> <li>異常気象による作物の不良は今後も予測されるので、品種選定など生産安定対策に期待します。</li> <li>水田活用では多雨など排水対策の徹底、畑地化しないとになじんの収量品質の確保は難しいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>去年は7月の豪雨、今年は猛暑で夏作になじんの収量品質は低下しました。要因の解析を進めて夏作の生産安定に向けた検討を進めるとともに、秋作の作柄向上に向けて支援を継続します。</li> <li>美里町の土地利用型の5法人が業務加工用のになじんの産地化を目指して取り組んでおり、排水対策、病害虫防除、品種選定、作型の見直し、新たな販路開拓を含め、農協等関係機関と連携して支援していきます。</li> </ul>
<p>堆肥の活用と施肥方法の改善による麦類の品質・収量の改善</p>	<p>4.4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>涌谷町では最大2万t/年の堆肥活用を想定しているとのことだが、堆肥の用途、品質管理、安全な取扱方法なども求められるので、持続可能な農業の推進及び環境の保全に配慮した有効活用、普及に期待したい。</li> <li>肥料価格が高騰する中、作物への堆肥施用効果に期待したい。</li> <li>資材価格が高騰する中堆肥活用が成功し、他地域へ広げてもらいたい。</li> <li>SDGsの観点から地域資源の堆肥の活用は良い。弱小穂など低収量の原因を特定し、施肥方法の改善による品質、収量の向上に期待します。</li> <li>夏黄金の需要が高まる中、堆肥の活用は涌谷町ならではの取組みだと思います。転作後の水稻の倒伏は乾田直播をおすすめします。</li> <li>畜産農家と連携した堆肥の活用は効果があると思うので、施用方法等を検証し、生産者全体に広げられると素晴らしいと思います。</li> <li>堆肥の可能性を多くの方が享受できるよう幅広い検討をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>堆肥ストックヤードは令和6年4月に稼働予定。今作は初年度のため堆肥の効果については検討中ですが、今後、麦作および後作大豆への効果なども調査していきます。</li> <li>肥料価格が高騰する中、耕畜連携、地域資源である堆肥を活用した小麦の収量・品質の向上の効果を検証し、施肥方法の改善も含めて他地域へ波及させたいと思います。</li> </ul>
<p>その他</p>	<p></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普及センターだからできること。栽培技術の向上や高収益作物の情報に期待しています。</li> <li>物価が高騰しているので、堆肥など身近な資材の活用を研究課題に取り上げ、情報を広めていただきたい。</li> <li>水田活用による作物栽培では排水対策が課題。5年に一度の水張問題など制度改正への対応を考えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業経営体の所得の向上を図るため、新技術の導入などの支援を行い、持続可能な農業経営を実現できるように取り組んでいきます。</li> <li>また、制度改正等の情報提供を的確に行い、委員からの意見を参考に、関係機関と連携して支援していきます。</li> </ul>

※：検討項目数に応じて欄を追加し記載する